

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
農林水産省 国土交通省	(22) 海岸事業 (海岸保全施設の維持管理)	本省	—	1,607,922 の内数	1,526,728 の内数	▲81,194 の内数	—
事案の概要	<p>南海トラフ地震や日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定される中、限られた時間内に全ての水門・陸閘(※)等に現場作業員が出向いて閉操作することが困難な場合など引き続き水門・陸閘等の自動化等を効果的に推進するとともに、整備後においても良好な状態が維持できるように適切な維持管理や効率的な運用、計画的な老朽化対策を図る必要がある。このため、これまで整備した自動化、遠隔操作化(以下「自動化等」という。)の妥当性、維持管理費を明らかにし、今後、水門・陸閘等の自動化等を推進するために必要な整備の在り方について検討を行う。</p> <p>※陸閘：人や車両の通行のために堤防等を切って設けられた海岸への出入り口を閉鎖する門。その門扉が、閉鎖時に堤防としての役割を果たす。</p>						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 導入の検討時に考慮すべき項目について

自動化等の導入後の維持管理費の増加要因では、保守点検や定期点検が大半を占める状況にあり、導入前の維持管理費の検討に当たってはこれら点検費用についても十分に考慮する必要がある。

2. 目安となるコスト面の提示について

今後、水門・陸閘等で自動化等の導入が相当数見込まれていることから、海岸管理者が整備後においてメンテナンスサイクルを確立し良好な状態を維持できるよう、国は、統廃合・常時閉鎖により維持管理コスト等が発生する管理施設の削減を前提としつつ、自動化等が必要な水門・陸閘等を抽出する際の目安をコスト面も踏まえ、提示すべきである。

反映の内容等

1. 導入の検討時に考慮すべき項目について

農林水産省・国土交通省は自動化等の導入に当たり、「津波・高潮対策における水門・陸閘等管理システムガイドライン(Ver3.1)(平成28年4月)」を参照する際には、維持管理費用を勘案し、その際保守点検費用や定期点検費用等も含めて幅広く検討すること、及び他の事例を収集するなど検討時における維持管理費の漏れがないようにすることについて事務連絡により、海岸管理者に対して周知徹底を行った。

2. 目安となるコスト面の提示について

農林水産省・国土交通省は、水門・陸閘等の自動化等の導入が円滑に進むことができるよう、海岸管理者に対して事務連絡により、水門・陸閘等の統廃合、常時閉鎖の推進を周知するとともに、自動化等を導入した水門・陸閘の1基当たりの年間の維持管理費について目安となるコストを海岸管理者に対して提示した。